

令和元年度 第4回役員会議事録

日時 令和2年3月27日（金） 9：55～11：55
場所 本部棟2階 小会議室1
出席者 沖理事長、兼信副理事長、松田理事、高橋理事、末岡理事 [5名／5名]
〔監事〕井上監事、大土監事 [2名／2名]
（事務局）小西次長、駒井課長、井上企画広報室長、鈴木主事、中島経理班長、田淵総務班長

1 開会

2 議事録の確認

令和元年度第3回（令和元年11月29日開催）の議事録案は承認された。

3 議題

〔1〕審議事項

（1）第3期中期計画 令和2年度計画（案）について

事務局から、別添資料1（1-1～1-3）により説明があり、原案どおり承認された。

（2）組織改編に伴う規程等の新設・改廃等について

事務局から、資料1により説明があり、原案どおり承認された。

（3）公立大学法人岡山県立大学業務方法書の一部改正（案）について

事務局及び兼信副理事長から、資料2により説明があり、原案どおり承認された。
なお、規程改正案において空欄であった岡山県条例の「第 号」は岡山県公報で確認の上、追記したい旨を説明し了承を得た（※岡山県条例第3号であった）。

（4）公立大学法人岡山県立大学役員報酬規程の一部改正（案）について

事務局から、資料3により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

（問）役員報酬の減額は県に準じるとのことだが減額の理由は何か。何かあったのか。

（答）平成10年からの財政難の時期に始まった給与カットが現在まで継続しているもので、大学の方針として県立の大学であることから理事長報酬も同様の対応を継続している。

（5）令和元年度補正予算（第3回）（案）について

事務局から、資料4により説明があり、原案どおり承認された。第3回役員会で指摘のあった寄附講座の収入科目の誤りの科目更正を行う旨を説明した。

（6）令和2年度当初予算（案）について

事務局から、資料5により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

(問) COC+事業が終了したが、成果は何か。どのように「おかやま地域人材育成ネットワーク事業」として取組むのか。

(答) COC+事業は、学生の地域定着をねらいとしていた。地域や市町村、企業と連携して、学生が地域でボランティアやワークショップに取り組んだ結果、自治体からの評価も高かったことから（定着率は目標に達しなかったが、）事業は引き続き行うべきとなり引き続きやっていく。しかし、国庫補助がなくなり、自走しないといけない。

限られた予算の中、PR的な事業費は削るが、学生の交流、産学官連携、地域連携については厳しい中でも予算を捻出して取り組んでいきたい。

国のCOC+事業の後継事業へのアプライは考えているが、非常に難しい状況であると認識している。今後のことも考え、実績は作っておきたい。

(問)（社会連携に関して）大学コンソーシアムも頑張ってもらいたい。また、県が産業界と連携して行う共同セミナーへの県立大学の参加はどうか。

(答) 県が作り財団が行うもので、各大学が窓口との説明を受けており、オファーがあると思う。

(7) 令和3年度岡山県立大学学則の一部改正について（案）

事務局から、資料6により説明があり、原案どおり承認された。

【質疑応答等】

(問) 建築学科の設置に伴い、教員の充実のために人件費がかかるのではないかと。定員は30人で良いのか。

(答) 文部科学省のシミュレーションでも学生数・受験者数もどんどん減るとされている。安易に定数を増やすことは質の保証ができない。ぎりぎりの選択である。文部科学省は1学部1学科のスタイルを勧めている。

[2] 報告事項

(1) 岡山県立大学履修規程の一部改正について（案）

事務局から、資料7により報告があった。

(2) 岡山県立大学大学院履修規程の一部改正について（案）

事務局から、資料8により報告があった。

(3) 公立大学法人岡山県立大学職員給与関係規程の一部改正（案）について

事務局から、資料9により報告があった。

(4) 教員の採用等について

事務局から、資料10により報告があった。

【質疑応答等】

(問) 報告事項(5)の職員について年齢の報告があるが、教員はない。なぜか。

(答) 教員の公募では年齢条件は出せない。一方、職員については35歳以下を条件

にしている。

(問) 教授の採用が多いが、県立大学勤務の教員については採用でなく、昇任でも良いのではないか。

(答) 昇任は准教授・助教についてであり、教授については公募が原則である。学外に加えて学内も含めて実施した選考の結果、採用されている。

(問) 教員の採用が多いようだが、退任はどうか。

(答) 退任があったポストにつき採用している。従前から空席となり公募していた教員の採用が、今年度集中して採用できた結果である。ポスト(数)は固定している。(増えてはいない。)

(5) 職員の採用について

事務局から、資料11により報告があった。

[3] その他

兼信副理事長から退任の挨拶があった。

【質疑応答等】

(問) 新型コロナウイルスの影響はどうか。

(答) 学位記授与式は中止し、学部で郵送を行う等の対応にした。4月6日挙行予定であった入学式も式典は取り止めて、簡単なオリエンテーションだけは行う。健康診断等必要なものは3条件に該当しないように配慮して実施する。

また、授業開始も4月20日まで繰り下げようと考えている。慎重な対応をしてまいりたい。